

ポーラ化成 東大との共同論文が学術誌「Cell Reports」に掲載

ポーラ化成工業は、東京大学生産技術研究所と共同で肌のシミと神経の関係について研究を行い、2021年に神経のシミへの関与を示し「Journal of Dermatological Science」に掲載された成果に続き、このほど、そのメカニズム解明にも成功し、世界的に権威ある国際科学学術誌「Cell Reports」の姉妹誌「Cell Reports」に論文が掲載された。

論文タイトルは「HUMAN SKIN'S LOCALIZED PIGMENTATION IS ASSOCIATED WITH NEURONAL MODULATION」。



図. 研究の概要 シミの奥では感覚神経とメラノサイトの接触が増えていることや、感覚神経がRGMbというタンパク質を分泌し、それを受けたメラノサイトが活性化してより多くの色素(メラニン)を産生することを示した。

このメカニズムを明らかにするため、ヒトiPS細胞由来の感覚神経細胞から分泌されるタンパク質を網羅的に調べたところ、RGMbは、メラノサイトを活性化してより多くの色素(メラニン)を生産させることが明らかになった。

花王は10月1日、これまで傘下のカネボウ化粧品を運営母体としていた「カネボウ陸上競技部」を花王に移管し、チーム名を「花王陸上競技部」(高岡寿成監督、スタッフ4名、選手15名、計19名)として新たにスタートした。



花王陸上競技部 H.O.P.E.をスローガンに、東京都世田谷区を拠点とする高みに挑戦している。

ライオン商事 名を変更するに至った

ライオン商事は、2023年1月1日付で、名を「ライオンペット」へ変更し、本社を移り、ペットと人が求める幸せな毎日に貢献する「をミッションに、9011

ペットのことを第一に考えた「ペット第一主義」の商品・サービスを提供していく。

岩瀬コスファ サステナビリティ評価でゴールドメダルを獲得

岩瀬コスファは、フランスEcoVadis社のサステナビリティ調査にて、2022年度「高品質」「安心」「安全」「環境配慮」に基づいた商品を提供し、人々の評価対象企業9万社とペットが求める幸せな暮らしを応援してきた。

資生堂研究所 「fibona」、中国における活動を開始

資生堂研究所が主導するオープンイノベーションプログラム「fibona」は、活動の中心となるのは、海外のスタートアップ企業と連携を行うのは、昨年実施した韓国での活動に続いて2回目となる。今後、グローバルな研究開発体制のもと、海外においても早期のインベション創出を目指す。

日本パッケージデザイン大賞 2023で大賞を受賞

資生堂のグローバルブランド「BAUM」は、7作品のみが選ばれる金賞を受賞した。また、資生堂2020年度創立記念品で育てた苗木の植林活動を行っている。プロダクトデザインの審美性や機能性のみならず、BAUMの活動の社会性も考慮され、今回の受賞につながった。



私のH&B日記

「私のH&B日記」という小欄のタイトルにちなみ、健康と美容に関する最近の自分自身の行動を振り返ってみると、真っ先に思い浮かぶのは近所の鍼灸院で教わった腰痛改善のストレッチだった。

鍼灸院直伝ストレッチ

腰痛は腰周辺の筋肉だけでなく、ハムストリングスの筋力が硬くなると、骨盤を立てることを意識しながら行うハムストリングスのストレッチだった。

PLUG AND PLAY CHINA 璞跃中国 fibona

海外のスタートアップ企業と連携を行うのは、昨年実施した韓国での活動に続いて2回目となる。今後、グローバルな研究開発体制のもと、海外においても早期のインベション創出を目指す。